

# 4月6日プログラム・登壇者紹介

## セッション 1 プレゼンテーション

### 「気候危機：科学、影響、 そして解決策」 (録画)



アル・ゴア（クライメート・リアリティ・プロジェクト創設者・会長、元米国副大統領）は、長年にわたり気候変動対策を世界的に推進し、環境問題への意識を高める活動を続けてきました。本セッションでは、「気候危機：科学、影響、そして解決策」をテーマに、気候科学の最新知見をもとに、地球規模から地域レベルに至るまでの影響とその解決策について解説します。これは、彼の代表的なプレゼンテーションのひとつであり、科学的な視点と実践的なアクションの両面から、気候危機への理解を深める貴重な機会となります。

## セッション 2 プレゼンテーション

### 「日本の状況と私たちがすべきこと について学ぶ」

日本の最新の状況や課題について学び、特にこれから私たちが取り組むべきアクションについて、気候変動の問題に長年取り組んできた専門家から学びます。

#### 登壇者プロフィール

平田 仁子（ひらた きみこ）氏

(Climate Integrate (クライメート・インテグレート) 代表理事)



気候変動対策の推進を目的としたシンクタンク Climate Integrate の代表であり、日本の脱炭素政策の第一線で活躍されている専門家です。20年以上にわたり気候・エネルギー政策に携わり、石炭火力発電の廃止を目指す市民キャンペーンをリードしてきました。現在は、政策提言や情報発信を通じて、日本の気候政策やエネルギー転換を後押しし、市民や自治体と協力しながら持続可能な社会の実現に取り組んでいます。その功績が国際的にも評価され、2021年には日本人女性として初めての「ゴールドマン環境賞」を受賞、他にもBBC「100人の女性」(2022) やロイター「Trailblazing Women in Climate」(2024) 等多くの賞に選出されています。



## セッション3 パネルディスカッション

# 「あらゆる立場からみんなで取り組む、立場を越えて協力する」

気候危機解決に向けて、あらゆる立場のすべての人が効果的なアクションに取り組む必要があります。国際会議の合意や国の政策が設定するゴールよりも野心的かつクリエイティブな活動ができるのは企業や自治体、市民団体などの非国家アクターならではの。多様なセクターで精力的に活動するフロントランナーから学びます。

### 登壇者プロフィール

#### 加藤 茂夫 (かとう しげお) 氏 (JCI (気候変動イニシアティブ) 共同代表)

リコーのサステナビリティ担当役員として、日本企業として初めてRE100に加盟し、企業の気候変動対策を牽引してきた専門家です。日本気候リーダーズ・パートナーシップ (JCLP) の共同代表や、World Environment Center、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン (GCNJ) の理事を歴任し、産業界の気候アクション推進に尽力されてきました。2018年には末吉竹二郎氏とともに気候変動イニシアティブ (JCI) の設立に貢献し、2023年からは共同代表として、日本の脱炭素社会への移行をさらに加速させるための取り組みを推進しています。



#### 杉山 範子 (すぎやま のりこ) 氏 (世界首長誓約 日本 事務局長)

気象キャスターとして活躍された後、東海学園大学と名古屋大学で環境政策や地域気候政策の分野を研究する専門家です。ヨーロッパや日本の自治体の気候政策を研究し、社会実装として「世界気候エネルギー首長誓約」日本事務局の立ち上げに携わりました。2021年より「世界首長誓約/日本」の事務局長として、日本の地方自治体と温室効果ガス削減や気候変動の適応策、持続可能なエネルギーの推進に取り組んでいます。その功績が評価され、2023年には環境大臣表彰「気候変動アクション大賞」を受賞されました。杉山さんの活動は、ドキュメンタリー映画「Wende2 未来へのアプローチ」でも紹介されています。



#### 竹中 貢 (たけなか みつぎ) 氏 (北海道河東郡、上士幌町町長)

2001年に上士幌町長に初当選した自治体リーダーです。SDGsの視点を取り入れたまちづくりを推進し、「脱炭素」と「デジタル」を軸に、地域資源の循環を活かした持続可能なまちの実現に取り組んでいます。その取り組みが評価され、2020年に「ジャパンSDGsアワード」内閣官房長官賞を受賞。翌年には「SDGs未来都市」「自治体SDGsモデル事業」に選定され、2022年には「脱炭素先行地域」にも選ばれました。





渡辺 由希 (わたなべ ゆき)  
(CRPジャパン エンゲージメント・コーディネーター)



2020年から約1年間、若者を中心とした気候正義運動「Fridays for future」のオーガナイザーとして活動。気候危機を知らせるストライキやマーチを行うと同時に、日本政府に対して抜本的な気候変動対策を求める署名を立ち上げ、約3カ月で3万弱を集めた。地元の札幌市に対しても気候非常事態宣言を求める署名を集めて提出し、同月に出された市の宣言を強力に後押しした。現在はアクションや対策の過程自体が公正であることの重要性や多様な人々が繋がり協働することの意義を感じ、CRPジャパンでエンゲージメント・コーディネーターとしてAction Groupsのサポートを行っている。

モデレーター  
三谷 優衣子 (みたに ゆいこ)  
(CRPジャパン ブランチ・マネジャー)



2019年に東京トレーニング参加後、2021年からCRPジャパン立上げに参加、以来選任スタッフとして勤務。非営利団体だけでなく、企業での勤務や法人立ち上げ等、多様なセクター・立場での経験を持つ。関心領域は気候正義や気候変動に影響を受ける人権問題（特に、労働者の人権やジェンダー問題など）、DEIJや民主的なコミュニティ運営。神奈川県出身。

## セッション 4



# テーマ別協働プログラムAction Groupsの紹介

学んだ知識を行動につなげる場、それがCRPジャパンの「Action Groups」。専門分野や関心に応じた5つのテーマで、仲間と共にアイデアを形にするプログラムです。本セッションでは、各グループの代表が今年度の活動を紹介し、次の一歩へのお誘いをします。気候危機に立ち向かう「あなたの居場所」をぜひ見つけてください。

## Action Groupsのテーマ・登壇者プロフィール

### テーマ1 ビジネスアクション

ビジネスグループは、ビジネスセクターにおける脱炭素を加速させたいメンバーが集まるグループです。中小企業向けの脱炭素トレーニングプログラムの開発・実施を行い、企業の気候責任を後押ししています。また、国内外の脱炭素に関するベストプラクティスを紹介し、実行可能なビジネス戦略の普及にも取り組んでいます。

### 河村 渉 (かわむら わたる) さん

日本企業のGHG排出量算定・検証業務に従事し、以前は国際環境NGO CDPで情報開示支援を行っていました。CRPジャパンでは、「ビジネス・アクショングループ」に所属し、企業の気候変動対策を推進し、脱炭素社会の実現に向けた活動を行っています。



## テーマ 2 気候教育

気候変動の原因や日本の現状に関する情報を発信し、教育的なアプローチで人々を勇気づけたいと考えているメンバーの集まりです。リーダーのプレゼン実施を支援し、使いやすい情報やプレゼン資料の作成にも貢献しています。また、CRPジャパンの教材開発にも協力しています。

### 曾我 美穂（そが みほ）さん

環境・社会問題に関する取材・執筆・編集・翻訳を行うフリーランスのエコライター・エディターとして活動しています。幼少期から環境問題に関心を持ち、現在は「気候教育グループ」のメンバーとして、気候危機について多くの人に伝えることを目指しています。



### 本多 牧生さん（ほんだ まきお）さん

海洋研究開発機構（JAMSTEC）の海洋化学者として、大気中の二酸化炭素が海にどのように吸収されるのかを研究しています。海洋の温暖化・酸性化・貧酸素化が進む中、CRPジャパンの「気候教育グループ」の一員として、海洋環境問題への理解を広め、行動を促す活動に取り組んでいます。



## テーマ 3 エネルギー

クリーンエネルギーへの転換とエネルギー効率の向上を目指すメンバーの集まりです。国内外のベストプラクティスを紹介し、日本のエネルギー政策への理解を深めるとともに、集団的な気候アクションを促進しています。ワークショップの開催や情報発信を通じ、真のネット・ゼロ社会の実現を目指しています。

### 稲田 恵美（いなだ めぐみ）さん

再エネ関連企業にて自治体の脱炭素計画作りや取り組みの推進支援を行ったり、環境市民団体の事務局として啓発活動の企画運営を行っています。CRPジャパンでは「エネルギーグループ」のメンバーとして国内外の脱炭素計画や目標の実現方法について学ぶ機会を企画する等、行動を起こせる市民を増やす活動をしています。



### 松原 弘直（まつばら ひろなお）さん

特定非営利活動法人 環境エネルギー政策研究所（ISEP）主席研究員として、持続可能なエネルギー社会の実現に取り組んでいます。エネルギー政策の指標化（エネルギー永続地帯）や自然エネルギー100%シナリオの研究をはじめ、国内外の自然エネルギーに関するデータ分析や政策提言を行っています。2010年からは日本初の「自然エネルギー白書」を編纂し、最新動向の発信にも尽力しています。CRPジャパンでは「エネルギーグループ」で活動しています。





## テーマ4 地域の気候対策

日本各地の自治体でコミュニティ主導の気候アクションを促進したいメンバーが集まるグループです。「ゼロエミッションを実現する会」と連携し、自治体での活動を支援するツールや資料を作成しています。また、気候市民会議など、自治体における民主的な気候政策モデルの普及にも取り組み、地域からの気候変動対策を後押ししています。

### 稲垣 雅子 (いながき まさこ) さん

製造業に勤務する会社員であり、CRPリーダーとして2020年に認定、翌年はメンターも務めました。現在は「地域の気候対策グループ」のメンバーとして神戸市の温暖化対策アドボカシー活動や、企業の気候変動対策推進に取り組み、海洋プラスチック問題にも関心を持ち活動を続けています。



### 辻田 郁直 (つじた いくなお) さん

市民の立場で、気候市民会議を企画・運営し、その普及を図る活動をしています。地域から気候対策アクションが広がることを重視し、CRPジャパンでは「地域の気候対策グループ」に所属し、地域で行動する市民を増やす活動に取り組んでいます。



## テーマ5 生物多様性

気候変動対策と生物多様性保全の両立を目指すメンバーが集まるグループです。気候危機の解決において生物多様性保全が重要であることを広めるため、啓発資料を作成・発信し、セミナーの開催を行っています。また、CRPジャパンの国際交渉の場でも、生物多様性の視点から気候行動を後押ししています。

### 太田 知明 (おおた ともあき) さん

整形外科医・総合診療医として働く傍ら、一般社団法人「みどりのドクターズ」理事として、医療分野から気候危機に取り組んでいます。バックパッカーとして世界を旅し、途上国の医療現場を経験したことから、声を上げにくい人々や生態系への影響を重視し、CRPジャパンでは「生物多様性グループ」に所属し活動に取り組んでいます。



### 三石 朱美 (みついし あけみ) さん

環境問題に取り組む弁護士のネットワーク団体、一般社団法人JELF（日本環境法律家連盟）で2004年から事務局を務め、沖縄をはじめ全国各地で市民活動に携わってきました。2010年の生物多様性条約（CBD）COP10をきっかけにCBD関連会議に継続的に参加し、各国の先住民族の代表者たちとの対話も重ねています。CRPジャパンでは「生物多様性グループ」に所属し、活動に取り組んでいます。



## 司会

櫻田 彩子（さくらだ あやこ）さん  
（エコアナウンサー®）

テレビで天気中継を担当する中で気候変動の影響を肌で感じ、2007年より「エコアナウンサー®」として地球温暖化防止や生物多様性、サステナビリティをテーマに地域での取り組みを支えてきました。現在は、気候ネットワーク理事やThink The Earth理事、サステナビリティ日本フォーラム事務局次長などを務め、司会やファシリテーターとしても多方面で活躍されています。



## 撮影

桑原 豊（くわはら ゆたか）さん  
（フリーランス 映像制作者）

ドキュメンタリー映像制作を中心に、テレビ番組やPR動画の企画・制作に従事。対話を通じた他者理解を大切にし、映像の力を活かしたストーリーテリングに情熱を注いでいます。

